

伏見小だより



伏見っ子

平成30年度6月号

H30.5.29.発行

学校の教育目標

よく考え仲間とかかわって
行動できる子

「好きな本は何ですか？」

校長 佐野 政紀



4月から2か月が過ぎ、学校生活にも慣れ、伏見っ子は元気いっぱいです。

6月は、旧暦では「水無月（みなづき）」といいます。水の無い月と書きますが、「無」は「の」を意味し、「水の月」であると言われていています。梅雨という雨が多い季節に入ります。運動場に出て遊べない日も増えてきます。安全・安心に事故なく、過ごせるように、子どもたちの意識を高めていきたいと思えます。

さて、6年生の「全国・学力学習状況調査」が行われ、その中の「児童質問紙」の結果を校内集計しました。その中に、気になった項目がありました。「学校の授業時間以外に、普段1日当たり、どれくらいの時間、読書をしますか。」という項目です。多くの子どもたちが読んでいると答えていますが、20%の子が「全く読まない」と答えています。本校では読書教育にも重点を置いています。読書も大切な勉強であり、よい人生経験にもなります。「好きな本は何ですか？」という問いかけに「何冊言ってよいですか」と答えられるような子に育てていきたいです。子どもたちに読書の楽しさを伝えるために、学校でも図書室に行くように勧めるなど色々と取り組んでいます。ご家庭でも、時間を上手につかっていただき、「家読（うちどく）」したり、読み聞かせしたりするなどの継続した取り組みをお願いします。これからも、子どもたちの力になることをご家庭と一緒に考えていきたいです。